

横浜市立 瀬谷さくら小学校

# 学校運営協議会だより

平成27年6月19日

平成27年度・第1号

共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」

～みんなの力で守り育てよう、瀬谷さくら小学校・さくらの子～

## 自分の命を守り、 家族や地域の方々を思いやれるさくらの子を

瀬谷さくら小学校 学校運営協議会 会長 網代宗四郎

しとしと降る雨の中、元気を取り戻し輝きを増しているアジサイに心を引かれる今日この頃ですが、皆様にはご健勝の事とお慶び申し上げます。

今年度も、会長を務めさせていただきます網代でございます。浅学非才な者でございますが、皆様の温かいご理解とご支援をいただきながら活動してまいりたいと考えております。



今年度の主な取り組みと致しましては、次の通り考えております。

児童の皆さんが、安全に安心して登下校できますよう、登下校中の見守りと交通安全指導を、学援隊の方々や、地域の方々のご協力を頂き行ってまいります。

児童の皆さんの学習やクラブ活動の支援を、教育支援部会の皆さんに行ってください。今年3月1日に開設されました「放課後キッズクラブ」が児童の皆さんにとって、安全で楽しい「遊びの場」と「生活の場」となりますよう様々な企画を立て運営されるよう見守ってまいります。また、皆様のご意見等は評議会でご申上げてまいり

ます。

交流会主催の「さくら小地域夏まつり」を、児童の皆さんや地域の皆さんが共に楽しんでいただけるよう、交流会や地域連携部会の皆さん、地域の方々、先生、PTAの皆さんと力を合わせ運営致します。

学校運営への理解と協力、そして、適切な評価を行いますと共に、運営協議会の活動を皆様にご理解いただくための広報活動を学校評価・広報部会の皆さんと一緒に進めてまいります。

災害から児童の皆さんを何時、如何なる状況の中でも守る為の、学校、保護者、地域等の役割や連携を検討、啓発を致しますと共に、児童の皆さん一人ひとりが自分の命を守る事が出来るよう、さらに、家族の、地域の一員として、家族や地域の皆さんの役に立てる人になっていただけるよう、防災教育を行ってまいりたいと考えています。

6月1日より改正道路交通法の施行に伴い自転車運転中に危険なルール違反を繰り返すと、「自転車運転者講習」を受ける事になります。危険な行為とは信号無視、一時不停止、酒酔い運転、ブレーキ不良自転車運転、通行区分違反などです。危険な行為を繰り返し行うことは、自転車運転者講習を受ける事になるだけではなく、交通事故に繋がる大変危ない行為です。児童の皆さんや保護者、地域のみなさんに、「交通ルールとマナーを守り交通事故のない明るいまちを作りましょう」と働きかけてまいりたいと思います。



# 夢なき者に成功なし

瀬谷さくら小学校 校長 武藤牧子

「おはようございます。」と元気な子どもたちの声に励まされる日々喜びを感じて平成27年度が始まりました。今年度の6年生は、さくら小学校開校時入学した子どもたちです。とても優しい子どもたちです。1年生との交流をはじめ委員会活動やクラブ活動で、最高学年として頼れる存在であることを感じます。そんな子どもたちが、3月に自分に自信をもち堂々とした態度で卒業できる姿を期待しています。

学校の教育目標「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」は、子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、主体的により良い生活を創っていかうとすることであり、そんな自分のことを誇りに思えることだと思います。

幕末の偉人であり、松下村塾で近代日本の礎を築く指導者を育てた吉田松陰の名言『夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に

実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし』の言葉を借りると、さくらの子には、夢をもち、その夢の実現に向けて努力を重ねるたくましい子どもに育ってほしいと願っています。



そのためにも、家庭と地域と学校とが手を取り合い、それぞれの役割を果たしていかなければいけないと思います。学校運営協議会がその取り組みを支える柱として存在していることに感謝するとともに、全教職員が児童一人ひとりに寄り添い、一人ひとりの良さを認め励まし、子どもたちが互いを思いやり相手の立場を理解しながら充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。本年度もよろしくお願いいたします。

## 新委員紹介

# 与えられたすべての縁を大切に

瀬谷さくら小学校 副校長 中島早苗

4月1日に副校長として着任しました中島早苗です。本校に着任する前は、瀬谷さくら小学校に対して「地域とのつながりが強い学校」「学校運営協議会が早くから設立されている学校」という漠然としたイメージをもっていました。

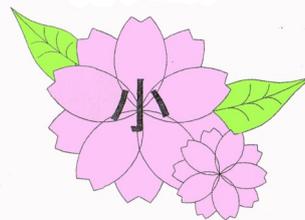
第1回めの学校運営協議会を終え、2か月強を過ぎた今、多くの活動をこの目で見て、多くの方々と話すことができました。花冷えの朝の登校時、雨が降り続くなかで、子どもを見守る姿。算数サポートで子ども達の質問に優しく答えている

姿。もちろん、これだけではありません。さくらの子を愛し、真摯に考えてくださるその姿すべてに感謝の思いでいっぱいです。



この学校に着任したこと自体は偶然ですが、与えられたすべての縁を大切にして、さくらの子をともに育てていきたいと考えています。今後とも、よろしくお願いいたします。

## 校章の由来



桜の五弁の花びらは、  
「知・徳・体・公・開」の  
学校教育目標を表現。  
重なる後ろの五弁の花びらは、  
学校を支える五つの地域を  
表現している。  
小さな桜の花は、  
統合前の二つの学校を表し、  
統合して大きな桜の花となる  
ことを表現している。  
二枚の葉は、  
子どもを支えるPTAと  
教職員を表し、  
未来にのびる様子を表現し  
ている。

**横横浜市瀬谷さくら小学校 平成27年度版 中期学校経営方針 (平成27年4月～平成28年3月)**

**学 校 概 要**

創立年月日 平成22年4月1日(下瀬谷小学校、日向山小学校の再編統合により開校)  
 校長 武藤 牧子 副校長 中島 早苗 学級数17学級 児童数 441名 下瀬谷中学校ブロック

**学 校 教 育 目 標**

「自分大好き 友だち大好き このまち大好き さくらの子」  
 (知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。  
 (徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。  
 (体) 自分や人の命を大切にできる子に育てます。  
 (公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。  
 (開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

**学 校 経 営 中 期 目 標**

(知) 基礎・基本を身につけ、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てます。  
 (徳) 善悪の判断ができ、自分を大切にし、他を思いやる心を育てます。  
 (体) 望ましい生活習慣を身につけ、進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます。  
 (公) 地域の方々とのふれあいを通して、地域を愛する心を育てます。  
 (開) 情報を活用し、様々な今日的課題に対応できる力を育てます。

**学校経営  
中期目標  
設定理由**

全ての児童が安心して生活できる学校を目指し、個々の児童が自分に自信をもち生活をよりよくするために主体的に行動できるよう全教職員で児童一人ひとりを見守り、指導・支援していくことを実践します。また、学校運営協議会を中心に地域・保護者とともに協働して子どもの将来に責任をもつ地域共同参画型の学校作りを進めます。

**小 中 一 貫 教 育 推 進 ブ ロ ッ ク 目 標**

**共通目標**

- ・児童・生徒指導を中心とした小中連携を密にし、地域を愛し、地域から愛される子どもを育てています。
- ・小中一貫カリキュラムの共通理解を深め、学習の基礎・基本の定着を図っています。

**自校の取組**

- ・中学校ブロック内での情報交換を密にして、小中一貫した児童・生徒指導を進めています。
- ・教職員や児童生徒の小中交流を通して、一貫カリキュラムの理解を深め、発達に応じた指導の工夫を行うと共に、子どもが安心して期待をもって中学に進学できるようにしています。

**共 通 取 組 内 容**

1 確かな学力	2 豊かな心	3 健やかな体
○基礎・基本の確実な習得を旨とし「分かる授業」作りを行い、自分の言葉で考え表現する子どもを育てます。 ○基礎学力の向上をめざし漢字・計算検定や算数補充学習に進んで取り組む姿勢を育てます。	○誰もが安心して豊かに過ごすことができる学校風土作りに取り組み、自他を大切にできる心情や態度を育てます。○目標の重点化を図り、規範意識やあいさつを大切にできる指導を充実させます。	○食教育・いのちの教育の充実を図ります。 ○「いきいきキッズ体力向上計画」の実践や特別陸上クラブ等を通して、自分の健康に関心をもって体力向上に取り組む子どもを育てます。

**重 点 取 組 分 野**

4 児童・生徒指導	5 研究・研修	6 地域連携
○あいさつ運動が定着し、元気で気持ちの良いあいさつができる子どもを育てます。 ○縦割り活動を充実させ、異学年交流による思いやりの心を育てます。 ○不登校や問題行動の芽を見逃さないよう教職員の共通理解を図り、子どもの様子を丁寧にみとります。 ○定期的にアンケートを実施し、子ども・保護者・地域の声を教育活動に反映します。	○授業研究や実技研修等、研修の方法を工夫しながら、授業力の向上に進んで取り組みます。 ○人権教育や特別支援教育などの研修を計画的に実施し、児童理解を深めます。 ○メンターチームを中心に主体的な授業研究に取り組みます。	○学校運営協議会を中心に地域との連携を進め、地域協働参画型の学校作りをさらに推進します。 ○さくらの子応援隊や学援隊など多くの地域人材の積極的な学校支援を受け児童の学習や安全環境の充実を図ります。 ○さくらの子基金の活用により、地域コーディネーターを中心とした学校支援活動を充実します。

**人 材 育 成 ・ 組 織 運 営**

○校内研修の計画的な実施や重点研究の授業研究・実技研修による実践的な授業力向上を図り、授業の質を高めるとともに教師力の向上を目指します。  
 ○若手教員が中心となるメンターチーム「チームさくら」で、主体的な授業研究の他に全職員向けの不祥事防止研修を企画運営し、全教職員のコンプライアンスの向上を図ることや危機管理等の研修も計画的に実施し教育公務員としての資質の向上を図ります。  
 ○学校創造委員会による横断的な組織機能の有効活用をめざし、学校評価に繋がる課題解決や取り組みの改善を図るとともに全教職員による情報の共有化や目指す方向性の共通理解を図り、組織として互いに支え合い、磨き合う組織作りを進めます。

## 平成27年度 委員と部会構成

5月14日、横浜市教育委員会から笹原指導主事を迎え、平成27年度・学校運営協議会委員の委嘱式が行われました。下瀬谷団地自治会の民部田前会長に代わって同自治会の飯塚会長が、與倉委員に代わってグリーンハイムひなた山自治会の渡辺会長が、メンバーを一新したPTAから石川会長、大高副会長、大庫副会長が、松田前副校長に代わって今年度着任された中島副校長が、新たに委員委嘱を受けました。

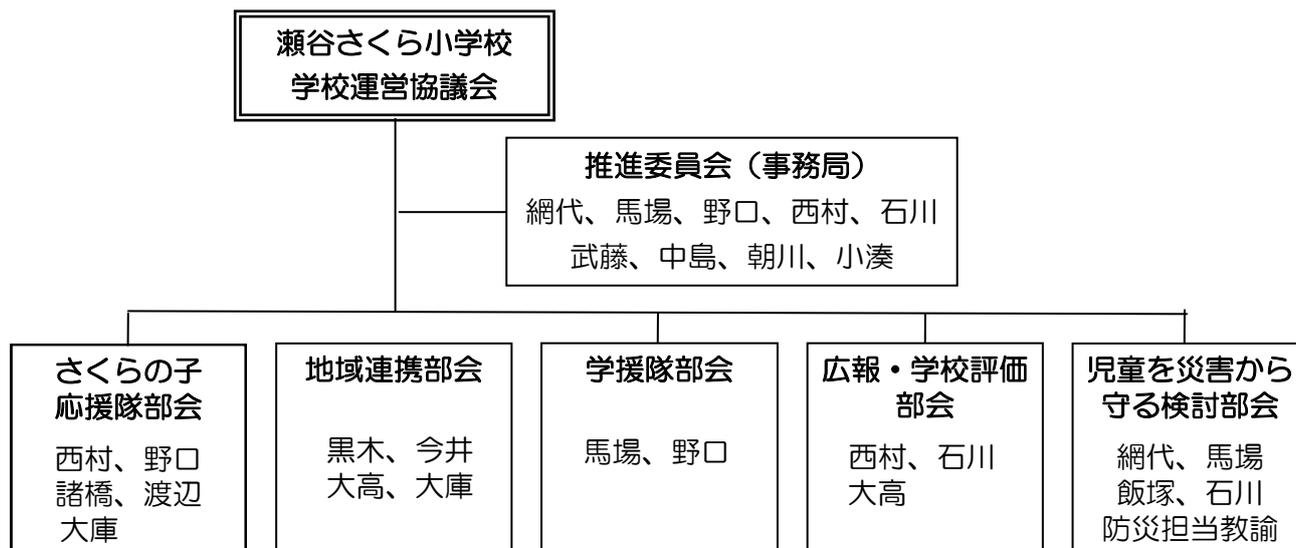
青木委員は、はまっ子が放課後キッズクラブへ

移行したため、オブザーバーとして参加していただくことになりました。

引き続き行われた第1回学校運営協議会では、平成27年度事業計画案、部会構成とその担当委員案が承認され、27年度の新しい体制がスタートしました。

協議会の中で、全体研修会に関して、その趣旨や研修内容、参加体制について再検討する必要があるとの意見が出され、今後、推進委員会で議論し、協議会へ提案することになりました。

役職	氏名	区分	団体役職
会長	網代宗四郎	地域代表	瀬谷第二地区連合自治会 会長 南瀬谷ニュータウン自治会 会長
副会長	馬場勝己	地域代表	ひなた山地区自治会連絡協議会 会長 ひなた山第二自治会 会長
	今井保美	地域代表	ひなた山地区自治会連絡協議会 前会長
委員	黒木昭博	地域代表	下瀬谷自治会 会長
	飯塚則夫	地域代表	下瀬谷団地自治会 会長
	西村快晴	地域代表	瀬谷第二地区連合自治会 元総務 下瀬谷第三町内会 元会長
	渡辺良彦	地域代表	グリーンハイムひなた山自治会 会長
	野口元	地域代表	瀬谷さくら小学校学援隊 事務局代表
	諸橋茂夫	学識経験者	横浜隼人高校講師 ひなた山第三自治会 元会長
	石川茜	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA 会長
	大高和子	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA 副会長
	大庫美季	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA 副会長
	武藤牧子	学校代表	瀬谷さくら小学校 校長
	中島早苗	学校代表	瀬谷さくら小学校 副校長
推進員	朝川健太郎	教諭	瀬谷さくら小学校 主幹教諭
	小湊清隆	教諭	瀬谷さくら小学校 主幹教諭
オブザーバー	青木俊太郎	瀬谷さくら小学校放課後キッズクラブ 主任	



## これまでの成果と課題

平成22、23年度の2年間、文部科学省の委託を受け、学校運営協議会推進校として研究を進め、平成23年度は、学校運営協議会推進協議会横浜大会で提案を行った。これまでの取り組みで、地域共同参画型学校運営の体制が整いつつある。また、学校を中心とした地域の活動が活性化し地域が元気になったという声を聞かれるようになった。

学校運営に関わる成果としては、

- ① 学援隊の活動が瀬谷さくら小学校区全体に広がり、120人以上もの地域の方が登下校時の児童の見守りに関わってくださるようになったことや警察署との連携が図られたこと
- ② 算数サポートや算数補充学習、クラブ活動支援等の「さくらの子応援隊」の取り組みが充実してきたこと
- ③ 学校評価による教育活動の改善が適時図られるようになったこと
- ④ 地域の防災安全や地域行事が活性化してきたこと

などがある。

学校運営協議会が支える瀬谷さくら小学校は、平成23、24年度と2年連続で横浜市保健優良校、平成24年度横浜市優秀教育実践校、平成25年度横浜市保健優秀校に選ばれ、教育活動が高く評価されている。また、平成25年度、さくらの子基金の設立により活動資金について見通しをもつことができた。

今後の課題としては、学校教育目標で掲げた児童の育成に向けた具体的な教育活動への評価とともに、学校評価が学校運営の改善に効果的に機能するよう研究を進めることなど、今後も活動を継続するために検討していきたい。

## 平成27年度事業の具体的な取組

平成27年度は、さらなる学校評価の効果的な活用やP T A及び地域参画の在り方について、検討し、学校支援活動の協働を推進する。また、算数補充やクラブ活動支援などの教育支援活動について、効果的効率的な方策を教職員と共に計画立案していく。活動部会の活動資金については、基金の活用や地域への空き缶回収の呼びかけなどによる資金の有効活用について検討していく。

### 取り組みの視点

- (1) 学校運営に関する学校運営協議会の役割と、それに関わる地域人材の活用の在り方
- (2) 保護者や地域住民の意向を適切に把握し、学校運営や教育活動に反映させる方策検討
- (3) 学校運営協議会による学校評価の在り方とその活用方法の在り方

### (1) 事業の具体的な内容及び方法

- ① 学校運営に関する学校運営協議会の役割とそのために必要な機能、組織のあり方についての見直し
  - ・ 学校運営協議会の役割、組織の在り方についての検討
  - ・ 瀬谷さくら小学校に有用な組織の在り方
  - ・ 地域人材の効果的な活用の在り方
- ② 保護者や地域住民の意向を適切に把握し、学校運営や教育活動に反映させる方策
  - ・ 保護者や地域等の思いや願いを把握するためのアンケート調査の実施と分析
  - ・ 学校の広報活動の在り方について検討しその結果や課題等を公表
  - ・ 学校支援組織の有用な活用と円滑な連携方法の検討
- ③ 学力向上、防災計画、地域連携等についての活動と地域人材の効果的な活用について
  - ・ さくらの子応援隊部会（教育支援部会）、地域連携部会、学援隊部会、広報・学校評価部会、児童を災害から守る検討部会等、各部会の組織運営体制
  - ・ 各部会の活動方針や活動の在り方
  - ・ 地域人材の効果的な活用の在り方検討
  - ・ 地域コーディネーター養成講座への参加とさくらの子応援隊の活用
- ④ 地域参画型学校運営協議会の在り方や、積極的な活用方法の在り方の検討
  - ・ 先進校の事例等を研修し、本校学校運営協議会の今後の在り方や活動についての研究
  - ・ 支援組織への参加意識を高める学校運営協議会の広報の在り方の検討
  - ・ 課題の整理と、結果の保護者、地域、関係機関への広報
  - ・ 有用な学校評価方法の開発と積極的な広報活動の在り方検討
- ⑤ 学校運営協議会設立による成果と課題の収集
  - ・ 合議機関として、その役割と責任を果たしているか
  - ・ 保護者、地域等に向けて学校運営協議会の活動を広報するとともに、学校評価を通して、設置したことについての評価を受ける。

新委員紹介

## 学校運営協議会委員になって思うこと

下瀬谷団地自治会 会長 飯塚則夫

この度、委員に任命されました下瀬谷団地自治会会長の飯塚と申します。よろしくお願い致します。

私がこの下瀬谷に住むようになったのは約30年前からで、私の子ども（二人）は下瀬谷小学校（現さくら小学校）を卒業しております。当時の下瀬谷小学校は学校運営協議会はありませんでしたが、児童数が多かったせいか、学校と地域が一体となり、活発に行事を行っていたように記憶しております。特に、夏まつりは盛大で楽しかったようで、私の子どもは、今でも夏になると思い出すようで、よく話題になります。

現在の「さくら小学校」は、少子化により下瀬谷小学校と日向山小学校の再編統合により開校されま

したが、児童数は昔に比べて少ないと思います。また、昔と比べて地震や交通量や種々雑多な情報等が多くなったと感じております。

そのような環境の中で、子どもたちが“伸び伸びと健やかに”学校生活を送るためにも運営協議会は必要であると思っております。その委員になって、子どもたちには楽しい学校生活を送って、沢山の思い出をつくってもらい、地域への愛着心を育ててほしいと願い、微力ではありますが、少しでもお役に立てればと思っております。



新委員紹介

## 柔軟な発想ができる子どもに成長するよう

さくらの子応援隊部会 渡辺良彦

今年度から新たに学校運営協議会委員になりました渡辺です。グリーンハイムひなた山自治会長になった途端に学校運営協議会委員にも推薦され、益々忙しい毎日を過ごすことになりそうです。さくらの子応援隊部会の主活動である算数サポートの教育支援員を昨年度までやってきており、その点では多少の活動把握ができてはいるとっておりますが、部会の活動としてそれ以外にもクラブ活動支援、モチモチ文庫、カナリヤ会があり、その活動に参加されている方々のご意見を聞きながら、よりよい運営ができるように頑張りますのでよろしくお願い致します。

さて、先日の毎日新聞にこんな記事がありました。



『日本語学校での授業で、生徒の一人が雑誌の中で見た「難有り」の意味を質問

してきた。「それが品物なら少し傷があったり、一部が故障していたりという意味。もともとは困難がありますという意味だね」と答えた。するとクラスでも人一倍勉強家の生徒が「でも先生、

ひっくり返して読むと有り難いってなりますね」と笑顔で言った。その通りだ、（中略）とかく日本人は決めつけ、一面的な物の見方をしがちだが、一見マイナスに思えることを、ひっくり返して考えてみることの大切さを、逆に教えられたひとときであった』。この記事を読んで、永年生きてきて、いつの間にかそういった発想が自分自身にも浮かんでこなくなっていた、と実感するとともに反省した瞬間でした。

運営協議会委員になったことでもあり、この反省をもとに、多面的な発想で物事を見る目を持った子どもたちに成長するよう、さくらの子応援隊を通して少しでもお役に立てればと思っております。



### さくら小地域夏まつり

開催日 7月25日（土曜日）  
18:00～21:00  
7月26日（日曜日）  
17:30～20:30

場所 瀬谷さくら小学校校庭  
出し物 模擬店 盆踊り

新委員紹介

## 子どもたちに楽しい学校生活を

瀬谷さくら小学校PTA 会長 石川 茜

皆様こんにちは、本年度PTA会長を務めさせていただきます石川茜と申します。皆様には日頃よりPTA活動に対しご理解ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

先日、友人と食事をしている時、「こんばんは」と声を掛けられました。誰だろうと思っていたら「さくら小だったOOです」と言われ、高校生になっていた女の子は、大人っぽくなっていて気が付きませんでした。気が付かない私に声を掛け、あいさつをしてくれ、私は嬉しい気持ちになりました。

別の場所でも、「おはようございます」や「こんにちは」と、小学生や卒業した子どもたちが声を掛けてくれます。本当に素敵な事だと思いま

す。先生方を初め地域の皆様が、登下校時に子どもたちを見守り声を掛けて下さっている積み重ねが、すてきな子どもたちを増やしているのだと感じています。感謝申し上げます。

本年度はPTA活動を通じ、先生方や地域の皆様のお力をお借りしながら、私たち保護者も一体となって、「明るく笑顔で知、徳、体、調和のとれたさくらの子」を育てるよう、子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう、微力ではございますが、お手伝いをしていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



新委員紹介

## 子どもたちの心の栄養

瀬谷さくら小学校PTA 副会長 大高和子

実のところ、私は50代の母親です。私が育った時代と、現代の子どもたちを取り巻く環境を比較してみますと、我が子どもたちには高速の電車に乗車しているようなイメージをもっています。早くはやく成長を願い、家庭の中で子どもの将来に向けての期待は大きく多岐に渡って、上手に身に付ける事を願うあまりに、時には、子どもたちは疲れてはいないだろうか、心配で顔を覗き込んでしまう場合もありました。このような状況にある子どもたちに、学援隊のみなさんが、毎日の見守りの中で、子どもたちの顔を覚えてくださり、

ゆっくり、優しく接して頂いている事が、どれほど子どもたちの心の栄養になっているかと有り難く思っております。

今年度、学校運営協議会委員として、学校支援活動を地域の方々と連携させていただくにあたり、保護者の代表として、日々ご支援いただいている事に感謝を込めて、一年間活動して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



新委員紹介

## 子どもたちへの思い

瀬谷さくら小学校PTA 副会長 大庫美季

今年度、保護者代表として、学校運営協議会委員の活動をさせていただくことになりました。

5月14日、初めて、学校運営協議会に出席しました。「学校」「地域」「家庭」の連携の大切さ、学援隊の皆様、地域の皆様、そして先生方の見守りで、子どもたちは、安全で安心して学校に通うことが出来ていると実感しました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

こんなにたくさんの地域の方々や先生方が、子どもたちの安全や子どもたちの可能性を考えて活動していらっしゃるのかと思うと、家庭ではどんなことができるのか？ どんなふうに子どもたちを見守ることができるのか？ と考えさせられます。わたしが思うことは、親の思う通りの人生で

はなく、自分で考え、やりたい事を選び、失敗をたくさんして欲しいです。その事で分かることもあります。そして反省し、次に繋げて後悔のない行動をして欲しいです。なぜかという、私は自分の失敗を人のせいにしてきました。

その事で辛い思いもしました。でも失敗してよかったです。失敗したおかげで、今の自分がいます。後悔はしていません。自分を大切に、そして自分を大切にするように友達も大切にして欲しいです。1年間学校運営協議会委員の活動させていただきます。よろしくお願い致します。



リレー随想

## 子どもたちの笑顔に元気をもらい

学援隊・教育支援員 山中邦雄

学援隊に参加するようになって3年目に入ります。保育園に通っている自分の孫や地域の小学生と接するのは本当に気持ちが若返ります。この学援隊を通して子どもたちと会話できるのは楽しいものだと思えます。



私が担当しているのは算数サポート（算数補充、かけ算九九特訓も含めて）と週1回の朝の登校見守りです。

算数サポートは、継続していると、すっかり子どもたちと顔見知りになり、指名されたり、冗談を言ったり、ため口をきいたり、「何を教えてんの」と先生には怒られるかもしれませんが、「そうか、わかった」と正解をすらすらと書いてくれたり、子供達からの感謝の手紙を読んだりすると、少しは役に立っているのかなとうれしくなります。学校以外の所で声をかけられても心がなごみます。私の願いは“算数が好きな人”になってもらえることです。

今年度もまた算数サポートが始まりました。どんな新しい児童と顔見知りになれるのか、今から楽しみです。



リレー随想

## 子どもがお世話になった小学校への恩返し

学援隊・教育支援員 羽山良夫

昨年度は、下校時見守り、青パトによる学区内パトロール、朝練見守り、算数サポート、算数補充、九九特訓、クラブ活動支援、その他、いろいろな活動に参加させていただきました。もともと、4人の子どもがお世話になった小学校への恩返しと、ポケ防止と健康のために参加しましたが、いつのまにか5年になります。



活動に参加していて常に心がけていることは、『どうせやるなら楽しくやろう。しかし、無理はしない』『学校のことで気になることはいろいろあるだろう。しかし、学校経営はプロの先生方にまかせ、イチイチ口出しすることは極力控えよう』です。

いろいろな場面で、児童の皆さんと楽しく接することが出来、街を歩いていても声をかけていただき、いつも顔がほころびっ放しです。その上、同じ活動をなさっている地域の方々ともお話をすることが出来、毎日、楽しい老後の生活を送っております。これも、当活動に参加させていただいているおかげと感謝しています。これからも、元気である限り、活動を続けさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。





## スクールゾーン点検

4月21日、スクールゾーンの点検作業が行われ、PTA、交通安全協会の方々と共に、学援隊も大勢が参加しました。

下瀬谷地区2班、ひなた山地区2班に分かれ、ゾーン内の危険箇所や道路標識、道路標示などの不具合がないか、点検して回りました。その結果は、7月7日に行われるスクールゾーン協議会で報告、改善提案することになっています。

## 交通安全指導

5月28日下瀬谷地区、6月1日ひなた山地区、1、2年生を対象にした交通安全指導が行われました。「横断歩道を渡る時は、信号が青になっても、左右をよく確認して、手を挙げて渡りましょう」この日教わったことを、早速、翌日の下校時に実践している子もいました。



## 算数サポート

5月26日から、今年も算数サポートが始まりました。算数補充やクラブ活動支援と合わせて、40回の教育支援活動が行われます。現在登録している教育支援員は40名で、1回に参加できる人は20数名です。算数補充は、掛け算の九九、4年、5年、6年を同時に、別室で行うため、できれば、もっと多くの支援員が必要です。都合のつく日だけの参加でも結構ですので、支援できそうな方はご連絡ください。

連絡先：301-8630（西村）、303-0803（中島副校長）

## 学援隊研修会・総会・懇親会

6月12日、薬師寺瀬谷区長、金子福祉保健センター学校連携課長、渡邊瀬谷警察署生活安全課長、清水神奈川県防犯コンシェルジュをお招きして、研修会が行われました。渡邊課長からは、振り込め詐欺や、6月1日に改正施行された道路交通法に関わる自転車の乗り方などについて、清水さんからは、命の大切さについて、大変有意義な話をしていただきました。

その後行われた総会では、26年度決算報告、監査報告、アルミ缶回収報告、新役員紹介、27年度予算案が全会一致で承認されました。



### 【編集後記】

今回は、思いのほか原稿が早く集まり、編集部が書く記事の執筆が後手に回ってしまいました。また、新委員の紹介（あいさつ）記事の量が多かったことと、期首のためイベントが少なかったこともあって、ページ数を偶数にするのに苦労しました。

皆さんのおかげで、毎回なんとか紙面を埋めておりますが、「これまでの成果と課題」や「平成27年度事業の具体的な取り組み」にもありますように、問題も山積しています。皆さんのお知恵を拝借しながら、改善していきたいと思っています。（西村）

学校運営協議会だより  
平成27年度・第1号  
平成27年6月19日  
横浜市立瀬谷さくら小学校  
学校運営協議会  
発行責任者  
会長 網代宗四郎  
編集  
広報・学校評価部会